

Time travel in MIYOSHI

三好 歴史をたどる旅

第10話 「農業の歴史」その1

愛知用水の通水が三好町にもたらしてくれたもの。それは第9話で紹介した工業の発展など計り知れません。そして何より農業に無限の可能性を切り開きました。現在も、三好町は果樹がブランド化されるなど、多くの農産物によって支えられています。今回は、農業の歴史を次回との間にわたって紹介します。

三好の農業の始まり

三好は温暖な気候であったため、古くから稲作や綿の栽培、養蚕などが盛んに行われてきました。古文書には、田畑の面積は延宝5(1677)年に202.6ha、慶応4(1868)年には206.6ha、そして明治9(1876)年には302.1haと記録され、時代とともに増加。明治40年からは、養蚕業の技術がさらに普及し、カイ「のえさ」となる桑の木の栽培のために山林が開墾されていきました。

戦後の農業振興

昭和20年の終戦直後に実施された農地改革は、自作農の確立と農村の民主化を目指して進められ



昭和10年ごろの田起こし風景



明治初期の畑作業

ました。これを機に三好も積極的な開墾事業を実施。当時の県内農村としては、経営規模が大きく、村人のほとんどが専業農家でした。またこのころから果樹(カキ・ナシ・ブドウ)、トマト、タバコなどの栽培が始まりました。  
しかし、三好の農業にとって致命的な問題が水不足でした。昭和15年、19年、22年に相次いで起きた大干ばつは、雨水によるため池に頼らざるを得ない三好を苦しい状況に追い詰めました。そんな背景から昭和23年に提案されたのが、木曾川の水を通水する「愛知用水計画」。また昭和28年には土地改良区を設立。農業用地の改良や集団化、土地基盤の整備など農業経営と生産力の発展を目指しました。昭和31年、国は新しい農村建設のための総合計画事業として「新農村建設総合対策事業」を施行。愛知用水を視野に入れ、三好村は県内の7つの推進町村の一つに指定されました。それをきっかけに近代的な農業機械、果樹や野菜などの商品作物を本格的に導入。また営農組織作りと技術の向上を進めました。

愛知用水通水

昭和36年に待望の愛知用水が通水。町中の田畑に水が潤い、果樹園にスプリンクラーが導入されるなど、三好町の農業は劇的に変わりました。しかし、工業の発展などにより経済成長が進み、農業を取り巻く環境も変化。主食増産という愛知用水の当初の目的は、土地基盤整備を進めるための水の確保や総合的な農業経営のための「基本的水」へと転化していきました。



おめでとう  
おたんじょうび  
4月

「兄ちゃん姉ちゃんが好き」

「兄ちゃんと妹ちゃんが好き」  
みみきちゃん。2人が小学校から帰って来て「おめでとう」とお出迎え。お絵書きやままごころと一緒に遊ぶんだよ。砂場で友達にスリッパを貸してあげる。優しいみみきちゃんに「思いやりのある子に育ってほしいな」とお母さん。

なかがわ みみき  
中川 岬ちゃん(三好丘陵)

父・悟さん 母・香さん  
平成14年4月10日生



「兄ちゃんが好き」

滑り台や砂場でいつも元気いっぱい遊んでいるゆりちゃん。歌や踊りが大好きで、歌いながら華麗なステップを披露してくれるんだよ。ごはんをしっかりと食べた後、お皿の片付けがちゃんとできるゆりちゃんに「素直で優しい子に育ってほしいな」とお母さん。

たけした ゆり  
竹下 優梨ちゃん(新屋)

父・淳二さん 母・弘美さん  
平成14年4月10日生



出場者募集中

【5月のお誕生日コーナー】

▼応募期間＝5月6日から10日まで

▼対象＝6月生まれで3歳未満の児

▼応募方法＝広報情報課へ電話で

☎(32)80357

※4月の応募は、10人でした。

広報クイズ

3人兄弟のそれぞれの名前は、太郎、次郎、三郎です。

太郎はいつもホントのことを言います。

次郎はいつもウソをつきます。

三郎は言うことがホントかウソかわからない時があります。

長男は「ぼくは太郎じゃないよ」

一男は「ぼくは三郎じゃないよ」

三男は「ぼくは次郎じゃないよ」と言いました。それぞれ誰が何男でしょうか。

【応募方法】(答え)例 四郎:長男、郵便番号:住所・氏名・電話番号・年齢を記入し、はがき、ファクス、または電子メールで広報情報課へお送りください。正解者の中から抽選で10人に、図書券500円分をプレゼントします。

【あて先・送信先】

はがき:〒470-0295  
三好町役場広報情報課(住所の記入不要)  
ファクス:☎(32)2165  
電子メール:khohohoh@town.miyoshi.aichi.jp

【締め切り】4月6日(金)必着  
【5月号の正解と当選者】10回(全88通正解6通)大地由美、山内恵子、中村富士雄、中村富子、岡本昌大、和田真理子(敬称略)

【アイデア・企画】広報で紹介するといったアイデアなどがありましたら広報情報課へお知らせください。